

高蔵寺ニュータウン再生 ・藤山台周辺地区

(愛知県春日井市)

計 画 期 間 平成 28 年度～平成 32 年度
面 積 42.8ha
交付対象事業費 1,006.2 百万円
市人口 311,344 人(地区内人口 2,785 人)

ポイント

旧小学校施設を活用し、図書館、児童館等の公益施設とコミュニティカフェ等の地域交流・地域活動の場を有する多世代交流拠点施設を整備すると共に、周辺道路を一体的に整備することで施設へのアクセス向上を図る。旧小学校施設を中心に既存ストックを生かした区域全体の魅力向上と施設利用者間の多世代交流を促すことで、高蔵寺ニュータウン全体の賑わいの創出と再生を図る。

地区概要

当地区を含む高蔵寺ニュータウンは、入居開始から約 50 年が経過し、当藤山台地区においては、児童数の減少により、小学校を 3 校から 1 校とする統廃合が進むなど、まちの活力や賑わいの衰退が懸念されている。高蔵寺ニュータウンが持続可能なまちであり続けるため、10 年 20 年先を見据えた夢のあるまちづくりの指針として、平成 28 年 3 月に「高蔵寺リ・ニュータウン計画」を策定し、まちの新たな未来の創造を目指している。

目 標

いつまでも安心して快適に住むことができる魅力あるまち

- 【目標】計画的に整備された既存ストックを活用し、都市機能の集約と拡充による、便利で快適に暮らせる持続可能なまち
- 【目標】既存ストックの再構築により、多様な世代が安心して居住できる良好な環境の維持
- 【目標】活発な地域活動を促進し、地域コミュニティが充実した活力あるまち

指 標

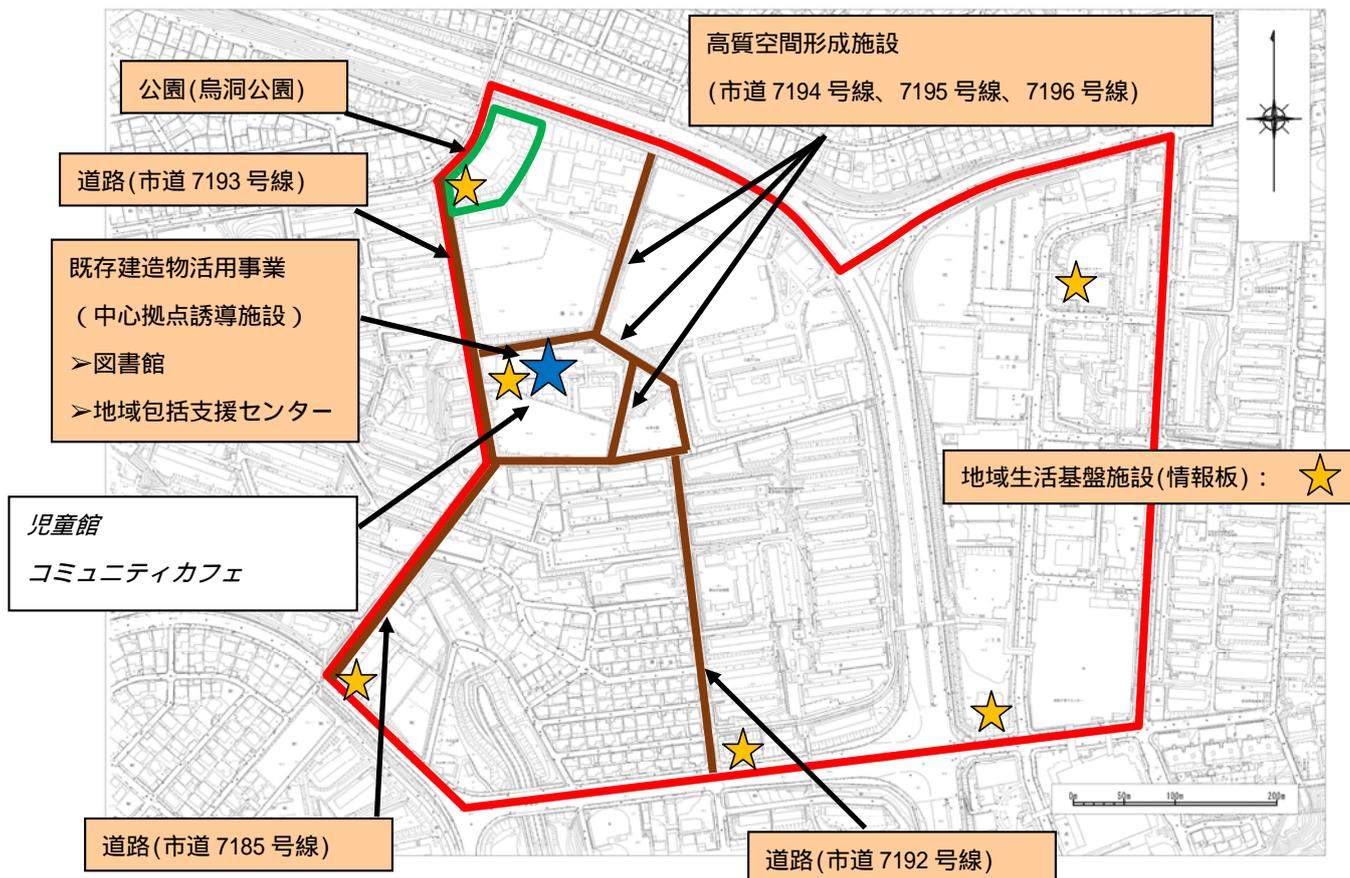
魅力あるまちを目指し、区域や施設の賑わいの創出、高蔵寺ニュータウンの再生を図る目標値とした。

図書館の利用者数	85,407 人	(H26)	→	94,000 人	(H32)
学習・交流活動の市民満足度	49.5 %	(H26)	→	54.2 %	(H32)
ニュータウンの活性化満足度	2.50	(H26)	→	2.55	(H32)

事業内容

基幹事業 (1,006.2 百万円)

道路 (都市再構築戦略事業) 公園 (都市再構築戦略事業) 地域生活基盤施設 (情報板) 高質空間形成施設 (コミュニティ道路整備) 既存建造物活用事業 (図書館、地域包括支援センター)



地区の現況と課題

当藤山台地区においては、児童数の減少により、小学校を3校から1校とする統廃合が進むなど、まちの活力や賑わいの衰退が懸念されている。

統廃合による旧小学校施設の有効活用や、新たな時代に合わせた周辺公共施設の再構築など、計画的に整備された成熟した資産の活用により、まちの活力の維持と、持続可能な新たなまちづくりが求められている。

計画策定プロセス

旧小学校施設の活用方法や周辺公共施設の整備方針については、地元住民の代表者を中心とした「旧小学校施設活用検討懇談会」により、統合後に余剰となる2小学校の利活用方法の検討を行い、その提言を受けて「旧小学校施設活用のための基本方針」を策定した。

また、施設の具体的な活用方法や周辺環境の整備について、より使いやすい施設を目指して住民ワークショップを行い、住民意見を集約し、都市再生整備計画を策定した。同時に、有識者、市民らで構成する「高蔵寺ニュータウン未来プラン検討委員会」を組織し、10年20年先を見据えた夢のあるまちづくりの指針「高蔵寺リ・ニュータウン計画」を策定し、旧小学校施設を活用した多世代交流拠点施設の整備を先行プロジェクトに位置づけて推進している。

都市再生整備計画の策定を始めとする高蔵寺ニュータウンにおける様々な取り組み等については、「高蔵寺リ・ニュータウン通信(かわら版)」を随時発行し、高蔵寺ニュータウン全域とその周辺地区へ回覧等により周知することで、情報発信と意見募集などに努めた。

伊藤太 春日井市長のコメント

当地区を含む高蔵寺ニュータウンは来年度で入居開始から50年を迎え、充実したインフラ環境を有し、住民活動も活発な地区である一方で、市内他地区に先行して少子高齢化等まちの課題が顕在化しつつあります。

旧小学校施設の活用にあたっては、住民の方々から多くの意見を頂き計画の策定にいたり、図書館、地域包括支援センター等を備えた多世代交流拠点施設として整備されます。当施設が新たなまちづくりの第一歩となり、若い世代の定住促進や、高齢者の住みやすい環境整備等、高蔵寺ニュータウンが持続可能なまちであり続けるよう、今後も様々な施策を実施していきたいと考えております。

高蔵寺ニュータウン住宅流通促進協議会 服部敦会長のコメント

当協議会では、今後予想される高蔵寺ニュータウンの空き家増加を未然に防止するため、空き家バンクの創設や空き家の流通促進等、魅力ある居住環境の創造を図り、高蔵寺ニュータウンの活性化が進むことを目指しています。

旧小学校施設を活用した多世代交流拠点施設の整備により、あらゆる世代にとってさらにまちの魅力が高まることを期待しています。また、今回の事業をきっかけとして住宅流通促進、高蔵寺ニュータウンの創生プロジェクトが進むよう、今後も取り組んでいきたいと思っています。

【旧小学校施設活用検討懇談会】



【住民ワークショップ】



【計画策定プロセス】



【旧小学校施設の整備イメージ】

